

ひとと学びと未来をむすぶー九女広報誌[なでしこ]

NADESICO

2020
Spring

Kyushu Women's University & Kyushu Women's Junior College

vol.02

九女なでしこ

60年の伝統にはぐくまれた[九女ブランド]

特集

地域に根差した実践教育を展開する大学として

世界を変える「SDGs」^{エスディーゼーズ}に向き合う



学校法人 福原学園



九州女子大学
九州女子短期大学



自律処行

自らの良心に従い
事に処し善を行う

ひとと学びと未来をむすぶー九女広報誌[なでしこ]

NADESICO

(学)福原学園
九州女子大学・九州女子短期大学
TEL: 093-693-3277
URL: <http://www.kwuc.ac.jp/>
発刊日: 令和2年3月31日



Campus Report

第59回

華秋祭

テーマは「結」
むすび

～ be the first ～



古き良き伝統と新しい令和の時代を「結ぶ」という思いをこめた記憶に残る大学祭となりました。

第五十九回を迎えた「華秋祭」が令和元年十一月一日(金)～三日(日)に行われました。今年度のテーマは「結(むすび) ～ be the first ～」。年号が平成から令和に変わって初めての大学祭ということで、古くから残る良き伝統とこれから始まる時代に合わせて新しい試みを取り入れ、これまでの歴史と新しい時代を結びたいという思いを込めました。

人間生活学科の「Tシャツコレクション」のテーマは「平成」。真っ白なTシャツを独自にアレンジして、「平成の文化・流行」を表現しました。栄養学科では、九女復刻カレーを提供。人間発達学専攻では、昨年よりもバージョンアップした令和にふさわしい「こどもまつり」を目指しました。人間基礎学専攻では、日本の伝統文化として注目される国語と書道の魅力を体験できるイベントや作品展を開催。短大の子ども健康学科では、ノンフィクションライターの秋山千佳先生(九州女子短期大学特別客員教授)による「キャリア支援特別公開講座」やキャラバン隊による学修成果の展示などが行われました。

このほかフィナーレの学内ライブには、昨年、日本武道館での単独ライブが話題になった「みやかわくん」が登場。今回は、九州共立大学との合同開催ということで、例年になくものとなりました。

「華秋祭」は大学と地域がひとつになる場でもあり、さまざまなイベントを通じて本学の学びの成果に触れてもらうことで、SDGsの「質の高い教育をみんなに」へとつながります。



九女広報誌 **NADESICO**

★年2回(春/秋)発行

九女広報誌【NADESICO(なでしこ)】は、九州女子大学および九州女子短期大学の情報を、保護者の皆さまや学外の方々に広くお伝えするための広報誌です。

タイトルの「NADESICO」は、九女なでしこカラーのNとOの間に、6つの学科・専攻のテーマカラーを盛り込み、九女で育まれる「強さとしなやかさのある女性」をトータルにイメージしました。

- N ● なでしこカラー
 - A ● 九州女子大学 家政学部/人間生活学科
 - D ● 九州女子大学 家政学部/栄養学科(管理栄養士課程)
 - E ● 九州女子大学 人間科学部/人間発達学科 人間発達学専攻
 - S ● 九州女子大学 人間科学部/人間発達学科 人間基礎学専攻
 - I ● 九州女子短期大学 子ども健康学科(幼稚園教諭養成課程・養護教諭養成課程)
 - C ● 九州女子短期大学 専攻科/子ども健康学専攻
 - O ● なでしこカラー
- ホームページ上の各学科ブログもぜひ一度ご覧ください。 <http://www.kwuc.ac.jp/blog/>



高校生と取り組む探究学習で 質の高い教育の大切さを伝える。



授業で発表する学生ファシリテーター



高校生とともに学びを深める2年生のファシリテーター



ファシリテーターと担当教員ら

その一つが、本学の連携協定校でもある八幡南高等学校の「北九州SDGs探究学習プログラム」への参画です。これは八幡南高等学校の高校生たちが、SDGsに

地域や卒業後の社会で活躍できる人材を目指す人間生活学科では、そのもとなる基礎的・汎用的能力を一年次から磨きます。授業では、自分の意見や考えを持ち、理由も含めて発言することの大切さや、それが社会でどのように役立つかを体感します。また、課題の発見や解決策を提案するための手法なども学びます。ここで身につけたことを糧に、二年次からは実際に地域へと飛び出し、さまざまな活動に取り組んでいきます。

八幡南高等学校のSDGs探究プログラムを学生たちがサポート

八幡南高等学校のSDGs探究プログラムを学生たちがサポート

が育まれます。

人間生活学科で身につけた「主体的に考える力」や「相手の意見を傾聴する力」「資料を作るノウハウ」「聴く人に届く発表の仕方」などを高校生に伝えること

人間生活学科で身につけた「主体的に考える力」や「相手の意見を傾聴する力」「資料を作るノウハウ」「聴く人に届く発表の仕方」などを高校生に伝えること

関連した地域課題に実践的に取り組む一年がかりのプログラム。地域の活性化や災害対策、子育て支援などさまざまな切り口から目の前にある課題を発見し、自分たちの力で解決策を考えるものです。高校生たちがその探究を深める過程に、大学二、三年次の学生がファシリテーター(学習や議論の進行等を担当する人)としてサポートしました。

地域生活学演習を通して 「4.質の高い教育をみんなに」

SDGsが目指すゴールは、「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進すること。子どもから大人まで、すべての人々に公平で質の高い教育や職業訓練の機会を提供することを目指し、中でも開発途上国、特に後開発途上国や小島嶼開発途上国などへの世界的な協力が求められています。

「4.質の高い教育をみんなに」—地域生活学演習などを通して、実社会で輝くことのできる知識・技術と人間性を兼ね備えた社会人を育成することを目指す人間生活学科の取り組みは、SDGsのこの目標につながっています。



4.質の高い教育をみんなに
すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

特集 世界を変える

地域に根差した実践教育を展開する大学として 「SDGs」に向き合う



SDGs(エスディーゼズ)とは、2030年までに世界共通で取り組もうとする持続可能な開発目標のこと。私たちの世界を変革するために掲げられた17のゴールと169のターゲットから構成されています。貧困や不平等、気候変動などのさまざまな社会課題や環境問題を解決し、地球上の誰もがより良い生活を送ることができる世界を目指して、2015年の国連サミットで採択されました。

本学が位置する北九州市は、内閣府から「SDGs未来都市(全国29自治体)」、および「自治体SDGsモデル事業(全国10事業)」などに選定されており、SDGsを積極的に推進するモデル都市でもあります。その中にある本学では、早くから、北九州市をはじめとする自治体や地元の企業、高等学校などと連携し、地域課題の解決や防災・減災活動、子育て支援などの実践教育を通じて、常に次世代を見据えた魅力あるまちづくりに貢献したいと取り組んできました。

今回の特集では、これまで各学科で学生たちが学びを深め、地域とともに活動してきたSDGsにつながる取り組みを紹介し、地域に根差した実践教育を展開する大学として、大学の持つ教育と研究を地域に還元し、一人でも多くの人々の生活がより豊かになることを目指します。今後さらなるSDGsの主要事業になるような、新たな取り組みも計画しているところです。



グリーンティーチャーで培う
人を育て支える専門職業人。



子どもとの関わりから、たくさんのことを学ぶ

小学校教員や特別支援学校教員、幼児教育・保育者を目指す学生たちが学ぶ人間発達学専攻。知識と技能を身につけるだけでなく、子育て支援や障がいのある子どもの保育についての学びも深め、現代の子どものちを取り巻く複雑な環境に対応できる人材を育てることを目指しています。また、小学校の教室を模してつくられた模擬教室を使って、より実践的な指導法を日々磨



子どもたちの宿題を支援する学生

グリーンティーチャーとは、「緑の、未熟な、未経験の、元気な、若々しい、新鮮な」という意味を含んだ未来の先生のこと。教育実習に行く前段階の学生たちが、近隣の保育所や幼稚園、小学校、特別支援学校などで、ボランティア活動をしています。幼稚園では絵本の読み聞かせや手遊びなどを通して園児とふれあったり、小学校では指導のサポートや教材準備



教育現場での指導補助

派遣先の学校側からは、「心のケアの面や特別支援の観点などから児童を見てもらいとても助かっている」とのありがたい声も届いています。自らの学びが社会に役立つことを実感できることは、学生にとっても何よりの喜び。また、子どもたちから「先生」と呼ばれることで芽生える自覚や、よりよい教育へと向かう熱い想いは、SDGsの目指す公正かつ質の高いケアや教育を志す原点にもなっています。

よりよい教育を目指して地域の幼稚園や小学校特別支援学校などで実践

いっているのも大きな特徴。そうした学びが現場でどのように役立つかを知るチャンスとして、「グリーンティーチャー事業」があります。

準備を手伝うなど、現場のやりがいや児童たちとふれあう楽しさを体験しています。



管理栄養士を目指す学生が
水巻町と災害食レシピを開発。



そんな中で注目されているのが、水巻町との共同研究事業の災害食レシピの開発です。水巻町から、「備蓄食品を使った簡単でおいしい災害食レシピができないかとオファーを受けたのが始まりでした。学生たちはさまざまな論文を検索し、災害時には水が不足することや火力は力セットコンロであること、野菜不足や塩分の高い食事が健康リスクを脅かすことなど、課題を抽出しました。これらを二つ

おいしいレシピで備蓄食品を循環させ地域の防災意識の向上を食のスペシャリストを育てる栄養学科。授業では、集団給食や臨床栄養など実習を重視しており、現場に求められる実践力を鍛え、高い専門性を育てています。また、企業や自治体との研究や商品開発を数多く行っているのも特徴です。

この災害食レシピがあれば、数年おきに買い換えが必要な備蓄食品をうまく循環させ、防災意識も高まります。こうした取り組みが評価され、今年三月には県知事が表彰する「令和元年度福岡県防災賞」の選考委員会奨励賞を受賞しました。今後は災害食を地域の人々にどのように普及させていくかが課題に。SDGsでは、飢餓や気候変動への対策にもつながる活動として、ますます期待が高まっています。

ひとつクリアし、何度も試行錯誤。顆粒のダシや乾物、野菜ジュースなどをうまく取り入れながら、平成二十九年度には十六品目のレシピを開発しました。また、翌年度にはアレルギーにも対応した八品目を追加しました。さらに令和元年度は水巻町の防災フェアへの参加、「バッククッキング講習会」を開催するなど、活動の幅を広げています。



ポリ袋や瓶に食材を入れ、湯せんで火を通すバッククッキング



バッククッキング講習会で学生がレシピや調理法を説明



「防災フェアinみずまき」で災害食を提供する学生たち

ここが九女のSDGs!

質の高い教育を実現する
確かな人間性を磨くために

小学校教諭や幼稚園教諭、特別支援教諭、保育士など、人を育て支える専門職業人を育成する人間発達学専攻。ここで学ぶすべては、SDGsが目指す「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことにつながっています。教育現場での指導経験が深い先生方によるきめ細やかな指導や、地域とつながるさまざまなボランティア活動、同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら学ぶことを通して、世界を変えるSDGsも視野に入れながら、いきいきと活動できる確かな人間性が育まれていきます。

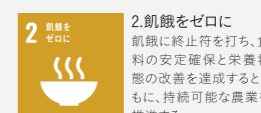


4. 質の高い教育をみんなに
すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

ここが九女のSDGs!

SDGsを視野に入れて
即戦力になる管理栄養士に

即戦力になる管理栄養士を目指す栄養学科では、北九州市や芦屋町、水巻町とともにSDGsにつながる連携事業を推進しています。教育を通して「4. 質の高い教育をみんなに」、地域課題の解決に向けて「11. 住み続けられるまちづくりを」、災害食への取り組みは「2. 飢餓をゼロに」や「13. 気候変動に具体的な対策を」につながっています。



2. 飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



11. 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする



4. 質の高い教育をみんなに
すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

九州女子短期大学
専攻科
子ども健康学専攻

九州女子短期大学
子ども健康学科
[幼稚園教諭養成課程] [養護教諭養成課程]

九州女子大学 人間科学部
人間発達学科 人間基礎学専攻

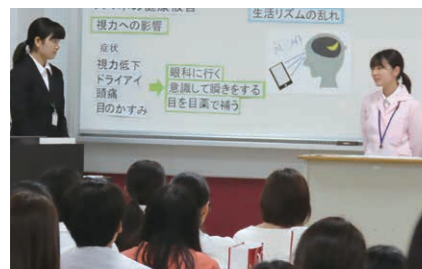
九女キャラバン隊で磨く 実践力と「教育・保育」への意欲。

日本の文化と言語を学び 指導力の高い教育者の育成を。

その中でも、「キャラバン隊」は、子ども健康学科の全員が参加する実践教育の一つです。実際の活動は学生が主体となり、幼稚園・保育所・施設など地域に出向いて行事の手伝いをしたり、日頃の学生生活を伝える『ひよこだより』『ひよこちゃんねる』を作成して情報を発信したりしています。希望する学生は「スーパークャラバン隊」として、幼稚園・保育所での

「人間力」と「専門性」を育み
幼稚園・保育所での
模擬保育をはじめ
オープンキャンパスで活動

地域社会と連携できる質の高い教育者・保育者を育成する子ども健康学科。二年間という短い期間で学生たちは、「人間力」と「専門性」を育むことを目指し、授業や実習を通して学んだことを現場で実践し、その活動の振り返りを丁寧に行います。



オープンキャンパスでの模擬授業



保育所の秋祭りに参加



幼稚園での模擬保育

学生たちは、学んだことを活かしてさまざまな地域貢献活動も行っています。たとえば、あらゆる書体をマスターした学生だからこそできる「書道パフォーマンス」は庄巻の迫力。北九州市八幡西区が主催する「全力！黒崎」では、書道部員が豪快なパフォーマンスを披露しました。さらに毎年七夕と書き初めの時期には、北九州市



芦屋町での公開講座「漢字のはなし」



九州国立博物館で開催された卒業書作展



黒崎商店街での書道パフォーマンス「全力！黒崎」

子どもたちの健康と幸福を守るための学びや、「教育・保育」とは何かを深めていくことが、今、私たちにできる第一歩。それが未来のSDGsのゴールにつながると信じています。

キャラバン隊活動を通して、「人間力」と「専門性」を身につけられるだけでなく、仲間と協力して目的を達成し、大きく成長するきっかけにもなります。そして、実践活動の学びの振り返りを通して視野を広げ、卒業後の現場で学びを活かす卒業生も多くいます。

模擬保育を通して子どもたちと関ることによって、保育者としての実践力を身につけています。また、オープンキャンパスでは高校生に対して学科の特徴をプレゼンすることによって、「教育・保育」者としての意欲を伝えていきます。

こうした活動を通して、学生たちは伝統文化を受け継ぎ、地域や世界に向けて発信していく大切さと責任を学びます。自国の文化を知り、深めていったその先に、SDGsが目指す心豊かな世界が見えてきます。

立子どもの館で「一日書道体験教室」を行っています。ここでは学生たちが先生役となり、子どもたちに書道のおもしろさを伝えていきます。令和二年二月には九州国立博物館にて四年生による、「卒業書作展」が行われ、来観者は四五〇〇人を超えました。書作展は出品点数も充実しており、大小バラエティに富んだ作品を通して、書の持つ魅力と可能性を存分に伝えることができました。また、本学と連携している芦屋町では、書道担当教員が高齢者の方々に向けた漢字をテーマとした公開講座を実施。これは、SDGsの「生涯学習の機会を促進する」という目標にもつながっています。



ここが九女のSDGs!

子どもたちの健康で幸福な毎日をサポートするために

SDGsの「3.すべての人に健康と福祉を」「4.質の高い教育をみんなに」という目標につながる学びを深めているのが、短大の子ども健康学科と専攻科の子ども健康学専攻です。ここでは、幼稚園教諭二種免許や保育士、養護教諭二種・一種免許、准学校心理士などの資格や免許取得を目指して、より高い人間性と専門性を持つ保育者・教育者を育むためのさまざまな取り組みが行われています。日々、実践力を磨き、創造性や意欲、研究心を高める活動を継続するその先に、SDGsが目指す持続可能な世界を視野に入れています。



3.すべての人に健康と福祉をあらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



4.質の高い教育をみんなにすべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



ここが九女のSDGs!

次世代を担う学生たちに 広い視野と学際的教養を

人間基礎学専攻は、「心理学コース」「国語・書道コース」「図書館・情報コース」の3コースで構成されています。一見、多様な学習内容に感じられますが、現代社会に不可欠な人と人をつなぐコミュニケーション能力や自己表現力、さらに個性あふれる専門性の育成という共通の目標を持っています。卒業後は、中学校や高等学校教諭、書道指導者、図書館司書、公務員など幅広いフィールドで活躍する学生たち。広い視野と学際的教養を育むことを通して、SDGsの「質の高い教育」を提供できる人材の育成を目指しています。



4.質の高い教育をみんなにすべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



NADESICO × WATCH

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、異例の卒業式となりましたが、これから未来へ向かって羽ばたく九女なでしこを応援しています。

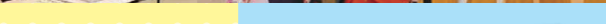


「綺羅星」のごとく輝いて

令和元年度卒業式の告辞より
 学校法人福原学園・理事長/九州女子大学・学長
福原 公子

今年度の卒業式は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、残念ながら短縮での開催となりました。しかし、九女なでしこの皆さんは、このような不測の事態を乗り越えていくための力を本学で身につけているはず。それは「強くてしなやかな」姿勢と、どんな時でも「笑顔」でいることです。今のようなときこそ、皆さんが中心になって笑顔をわけてあげられる女性になってください。

もう一つ、2月に九州国立博物館で開催された書道の卒業書作展で出合った印象深い作品がありました。縦書きで「綺羅星」と書かれた作品には、4年間で出会った友人や多くを学んだ学生生活への想いが込められていました。どうかこれからも、綺羅星のごとく輝く人生を。卒業生の皆様のご健勝とご活躍、さらにはご多幸を心から願っております。



九女なでしこ
卒業式
 ×
WATCH

令和はじめての卒業式にて
 九女なでしこらしい姿をお届けします。

SCHEDULE

令和2年度
 九州女子大学・九州女子短期大学

前期の行事予定

4/4(土).....入学式

8/1(土)~9/13(日).....夏休み
 内8/3~8/7は補講期間

後期の行事予定

8月下旬~9月中旬.....保護者懇談会
 会場: 本学、山口、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄
※保護者の皆さまと大学との連携を強め、相互理解を深めるための懇談会です。大学の現状や学生たちの学びの日常をお伝えするほか、個別三者面談も行っています。詳しい日程は後日お知らせいたします。

10/31(土)~11/1(日).....華秋祭(大学祭)

折尾
 ×
まちかど People

九女がお世話になっている方々を
 リレー形式でご紹介。



親切・ていねい・まごころサービスで
 折尾エリアで愛されるタクシー会社

「親切・ていねい・まごころサービス」をモットーとするタクシー会社やデイ・サービスなどを経営する大和さん。学園の発展や振興を図り、地域社会との橋渡し役でもある福原学園協会の会長としても九女を支えてくださっています。



耕学館のロッカールーム

この春ロッカールームをリニューアル。750人以上の学生たちが個別に使える新しいロッカーを完備しました。身だしなみを整えるためのパウダールームも併設されています。



令和はじめての卒業式

3月18日、本年度は全体式典を中止し、学部・学科単位で規模を縮小した卒業式を執り行いました。学長からは、厳しい時代を乗り越え未来へ羽ばたく九女なでしこたちに、あたたかいエールが贈られました。

卒業生代表の謝辞より

長いようであつという間だった四年間。私は今春からずっと夢に描いていた小学校の教壇に立つことになりました。学びの日々では辛かったこともありましたが、乗り越えることができたのは、共にかんばり励まし合った仲間と先生方、いつも私の一番の応援団でいてくれた両親のおかげです。心より感謝いたします。

九州女子大学 人間科学部
 人間発達学科 人間発達学専攻
上原 嵯理